

# コミュニティ連動型情報集約サイトの構築

渡部雄生

□推薦

指導教員 広瀬雄二

過ぎたるは猶及ばざるが如し。昨今の情報の氾濫具合はまさにこの言葉のとおりといえよう。知りたいことがあり、それをネットで調べ、すぐに答が見付かる。そのようなことに慣れきった世界では、情報そのものの価値よりも、情報を如何に早く手に入れたかという、鮮度のみをもてはやすことに陥りがちである。また、自分で能動的に探すのではなく、垂れ流しで落ちてくる情報をただただ受け流して、頭に何も残らないという自体が当たり前のようになっている。結局、本当に必要な情報を邪魔するものが多くなっているのである。

渡部雄生君による「コミュニティ連動型情報集約サイトの構築」は、2010年代後期に顕在化した上記の問題に正面から立ち向かう技術の構築を、独力で成し遂げた価値ある卒業論文である。この論文では、対象を本学の学生と据え、そのような条件で対象者に必要な情報を抽出し、必須項目を集約するサイトを構築できることを示し、さらに一般的な集約サイトの持つ問題点を明らかにした。情報利用者としてどのような問題を意識しなければならないかは、ぜひとも本文を参照していただきたい。こうした集約システムが構築できることは、本来の情報提供者あつてのことであるということにより多くの人が理解した上で、それを再利用しやすい形で多くの組織が提示する枠組みが拡がっていけば、より一層情報活用度の高い社会が訪れるであろう。